

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	当院における妊産褥婦の尿便失禁の実態
研究責任者	C5病棟 島津泉
研究実施体制	C5 病棟 池田千夏・園部彩乃・伊藤佳那・加藤清香・鈴木紋子 MFICU 加藤智子・鈴木静恵・西山亜希
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~2024年10月1日
対象者	当院で出産した褥婦
研究の意義・目的	<p>豪州では妊娠期から助産師と共に理学療法士が妊産婦へ介入していること、それら職種が連携して、尿便失禁のみならず妊娠中の体づくりまで理学療法的視点を持ち患者介入をすることで一定の効果をj得ているという報告があります。当院でも実際産後に、理学療法士による退院指導が行われた際に、患者から「妊娠期から理学療法士の話を知りたかった」などの意見が聞かれ、助産師と理学療法士による連携は今後も推進されるべき事柄であると考えています。今回の研究では当院での産後の尿排便失禁について現状を把握することを目的とし、その結果を踏まえて、今後当院の助産師と理学療法士による保健指導と介入を検討したいと考えています。</p> <p>また、国内の研究において妊産褥婦に向けた尿便失禁予防をはじめとした助産師と理学療法士と共に行った理学療法的な視点を持った継続的な活動の報告はないため、今後の当院での取り組みの実際を報告することは、その取り組みを行う病院や助産師・看護師・理学療法士に対する一助となるだけでなく、尿便失禁予防のための看護活動への寄与することにつながると考えています。</p>
研究の方法	主要下部尿路症状スコア(以下、GLSS)を用いて、産後3日目、2週間健診時、産後1ヶ月健診時に聴取させていただきます。GLSS はわが国で開発された主要な症状を聞き落とさないための10項目から成る質問票です。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 C5病棟 (氏名) 池田千夏 TEL:053-474-2222(代表)